



2018年7月14日
投資家の皆様へのご説明

ヤマハ発動機株式会社
(東証一部 7272)

本日の内容

1. 会社概要
2. 事業活動
3. 業績の推移・株主還元
4. 社会貢献活動

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動

ヤマハ発動機のおゆみ

1897年 **日本楽器製造** 誕生
(現在のヤマハ株式会社)

1955年 **二輪車部門**を分離・独立



ヤマハ 株式会社



ヤマハ発動機 株式会社



Revs Your Heart

Rev — エンジンの回転を上げるように。
心躍る瞬間、そして最高の経験を、YAMAHAと出会うすべての人へ届けたい。

私たちヤマハ発動機は、イノベーションへの情熱を胸に、
お客様の期待を超える感動の創造に挑戦しつづけます。

世界初

「人の力+電気」を融合・実用化

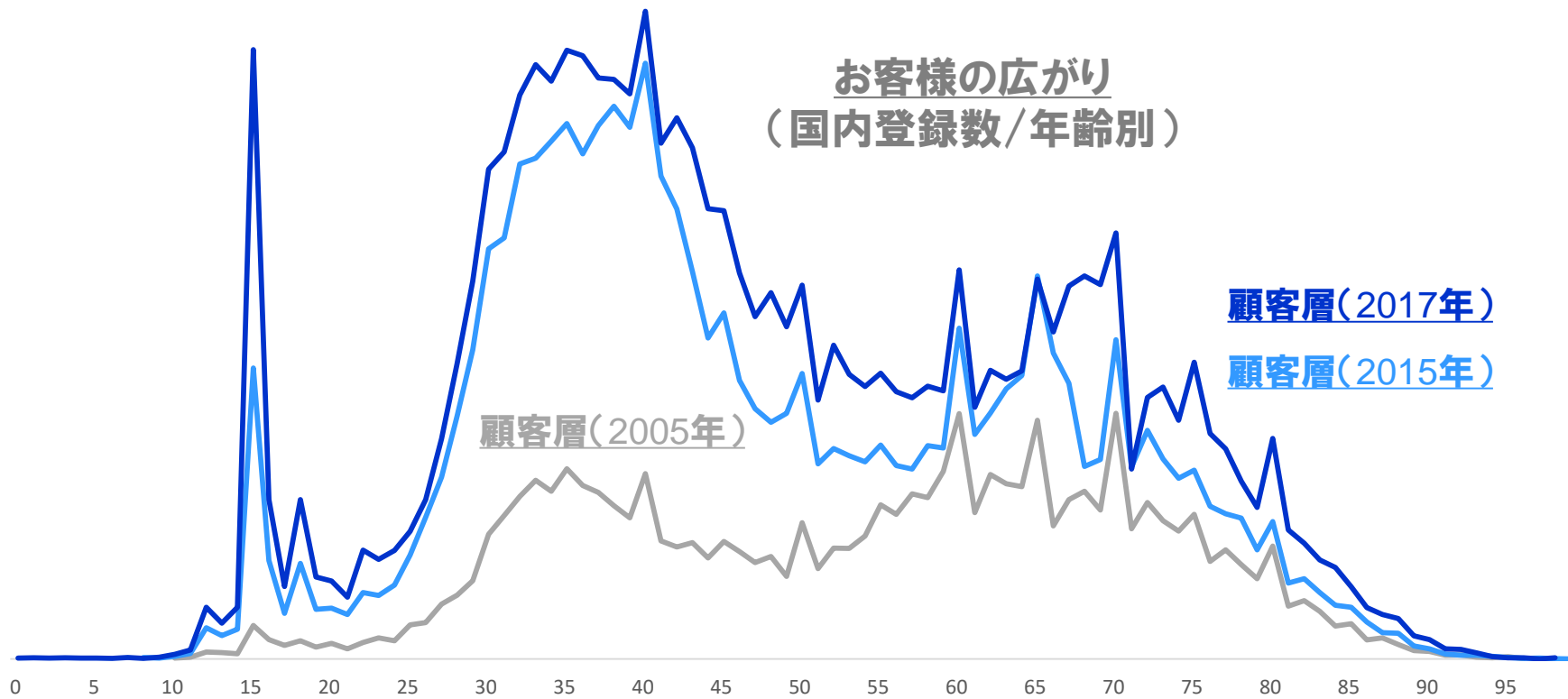


免許不要

環境にやさしい

誰でも手軽・便利

お客様の広がり (国内登録数/年齢別)



通学モデル
PAS With



アシストロードバイクモデル
YPJ-R



ファミリーモデル
PAS Babby



足つき No.1モデル
PAS SION

陸・海・空すべてのフィールドで 幅広い商品を展開

マリン事業



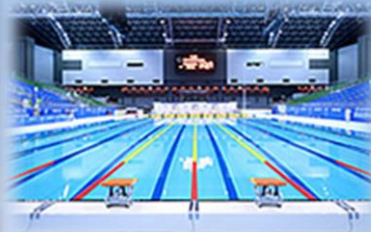
特機事業



その他事業



二輪車事業



グローバルな事業展開

グローバルに開発・生産、**180**を超える国と地域で販売

海外売上高比率 = およそ **90%**

海外生産比率 = **90%**以上

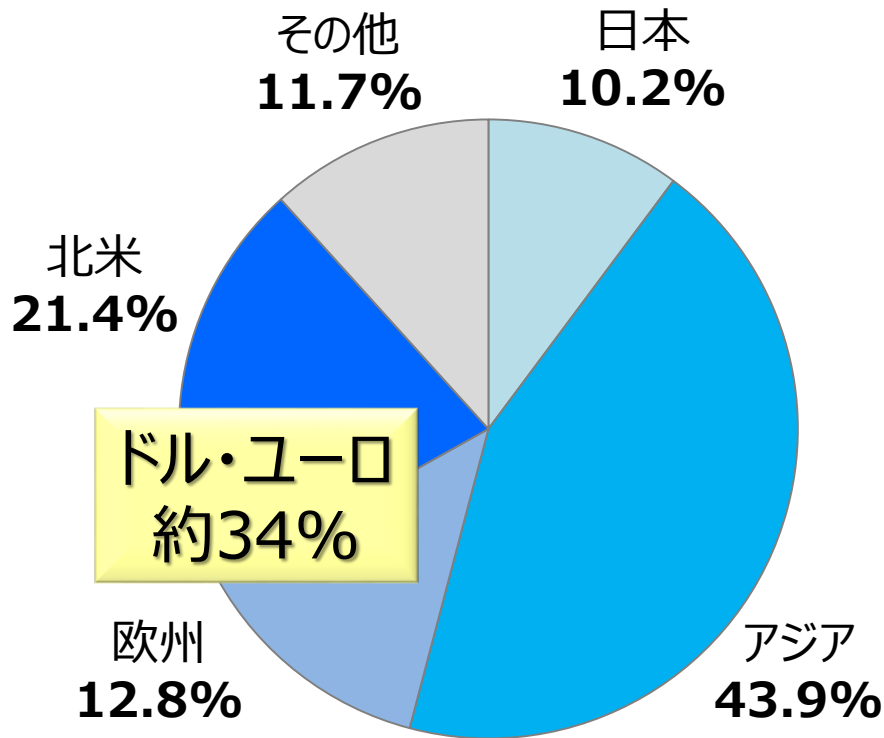


- 生産・開発・販売拠点
- 販売拠点ほか

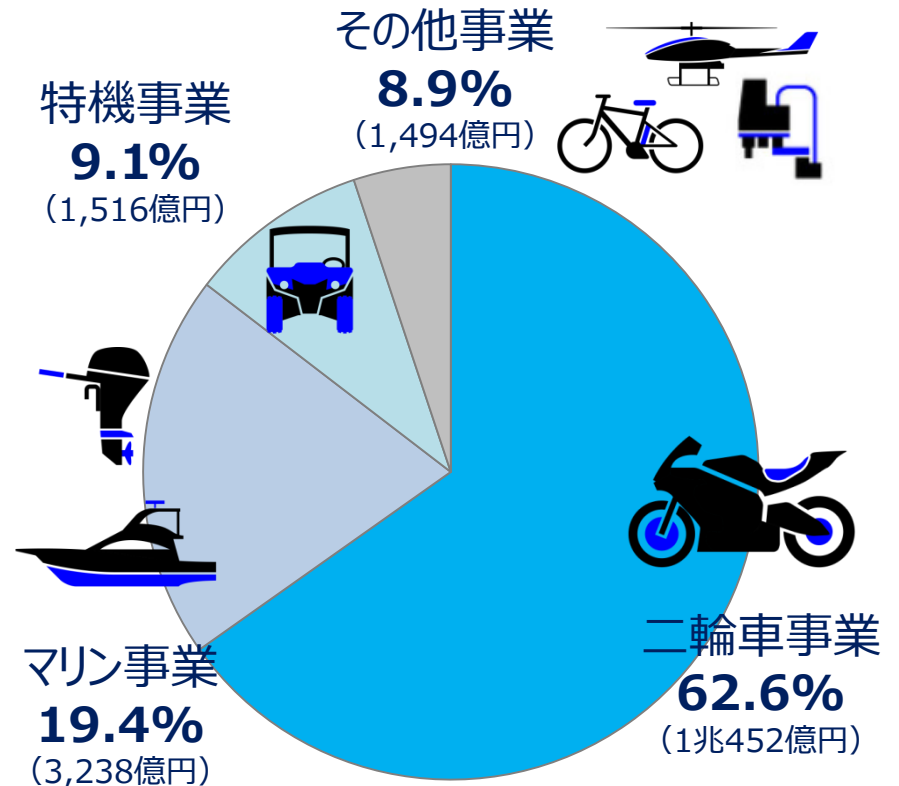
売上構成 (2017年12月期)

連結売上高 = 1兆6,701億円

地域別



事業別



本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

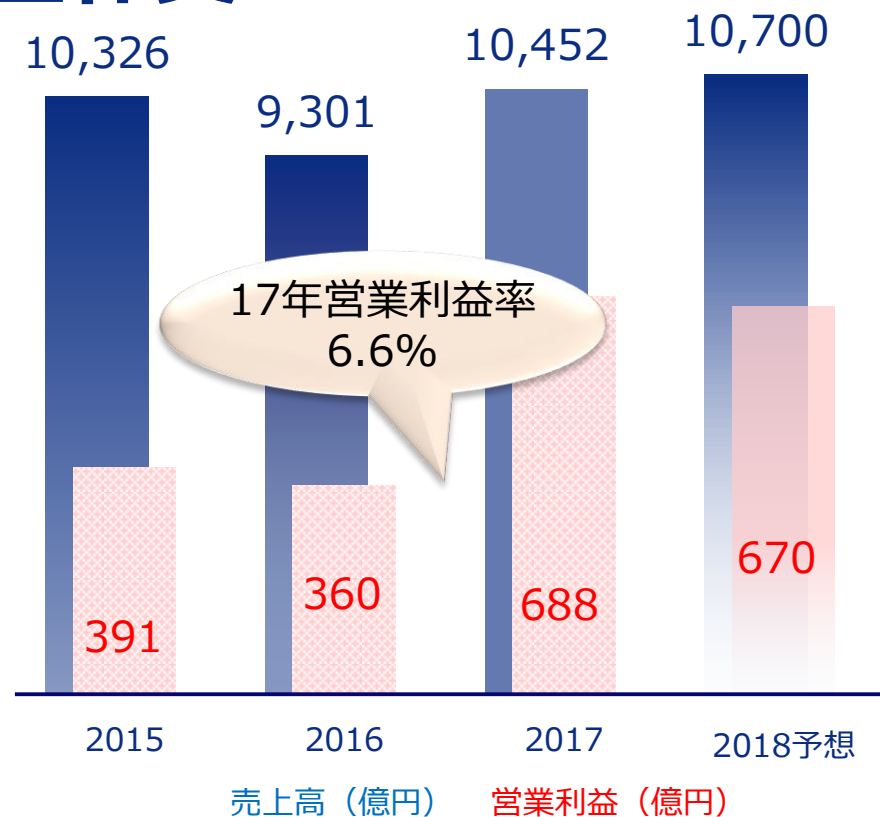
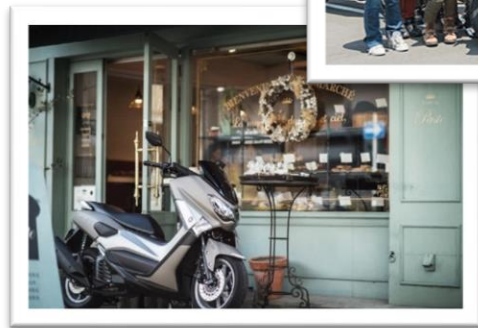
3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動

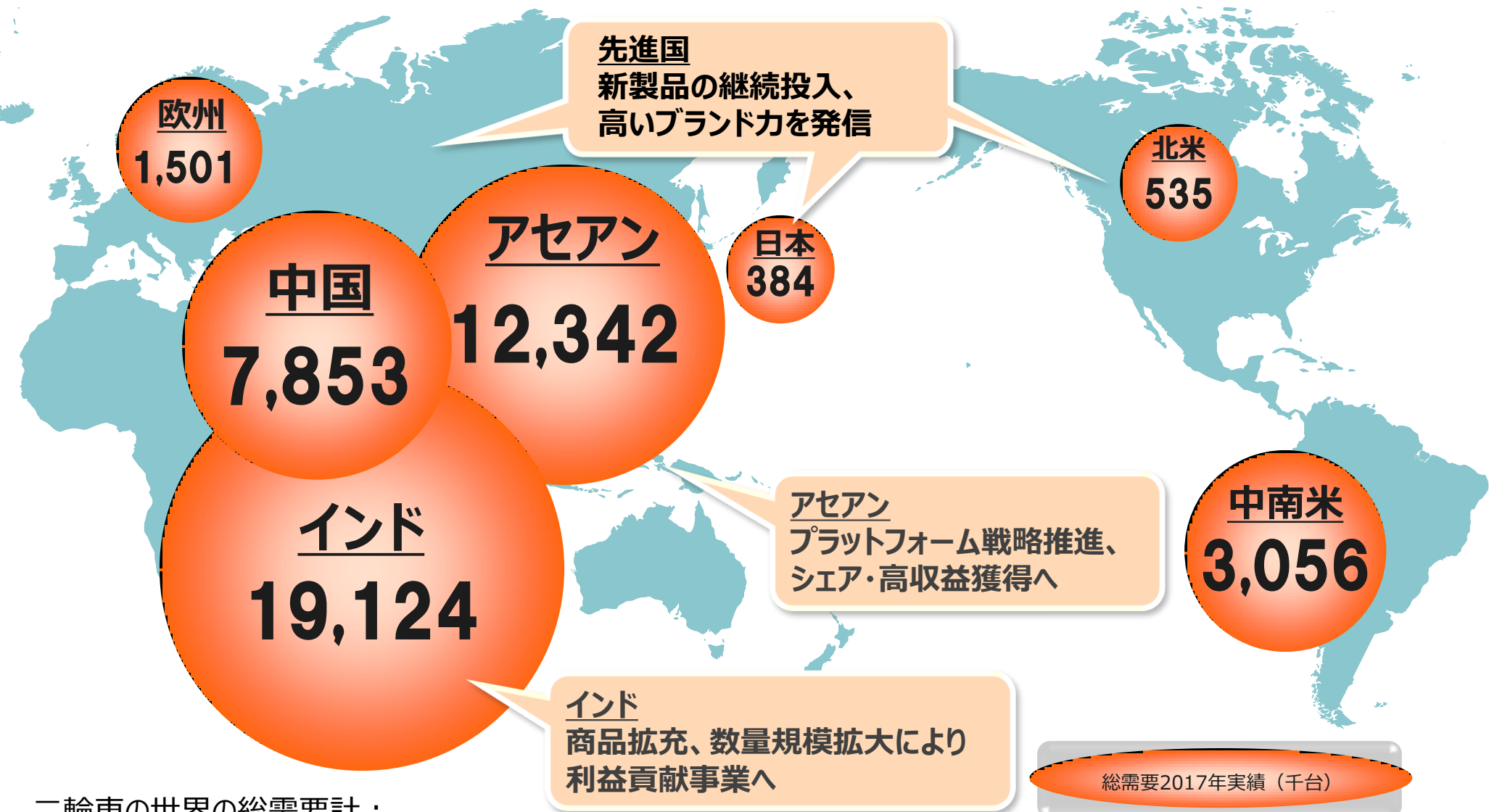
二輪車事業



会社創立から、基幹事業として展開 経営効率・商品競争力を高め、 安定した収益体質へ



二輪車事業 ～ 世界の市場規模 ～

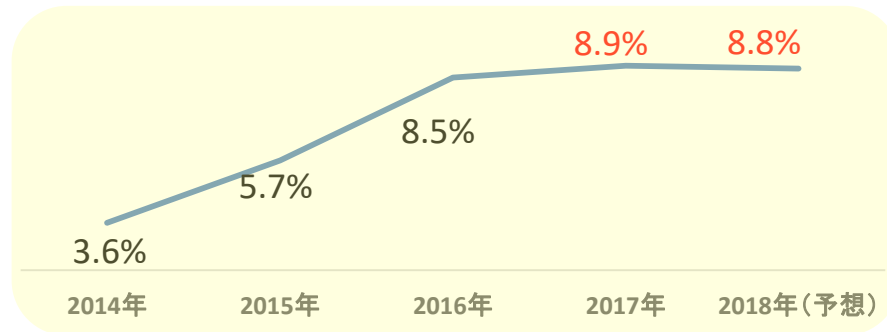


二輪車の世界の総需要計：
53,995千台

総需要2017年実績 (千台)



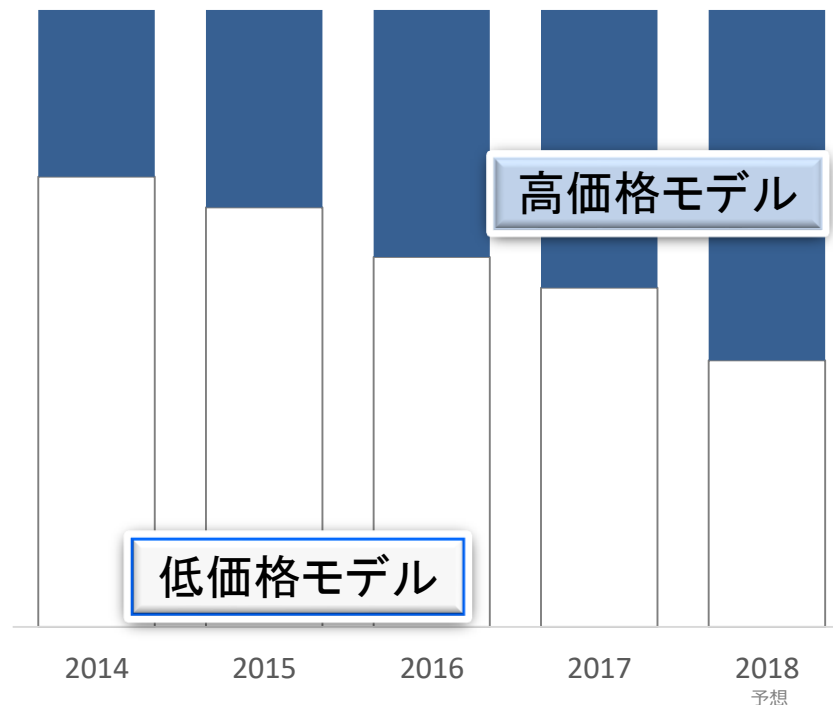
ASEAN 営業利益率大幅改善



①プラットフォーム開発によるコストダウン



②高価格モデルの販売比率増加



例) インドネシア 価格帯別販売台数推移

二輪車事業 ～ 新興国市場 インド高成長 ～

インド

二輪車市場 高成長 プレゼンス向上を目指す

総需要台数 (千台)
当社販売台数 (千台)

約10年間(2008~2018予想)で...

総需要
173%増加

当社販売
560%増加

7,325

20,000

19,124

900

787

136

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18予想

積極的な販売網拡大

昨年1年間で新規に**約550店拡大**
(2016年末:2,907店→2017年末:3,457店)



生産能力増強



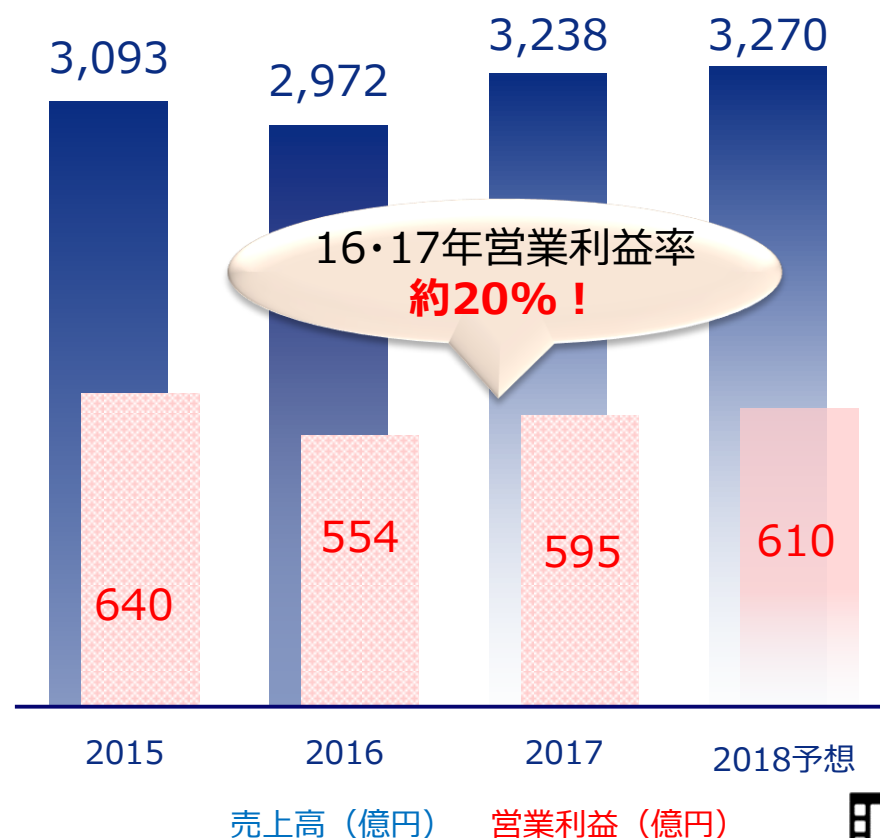
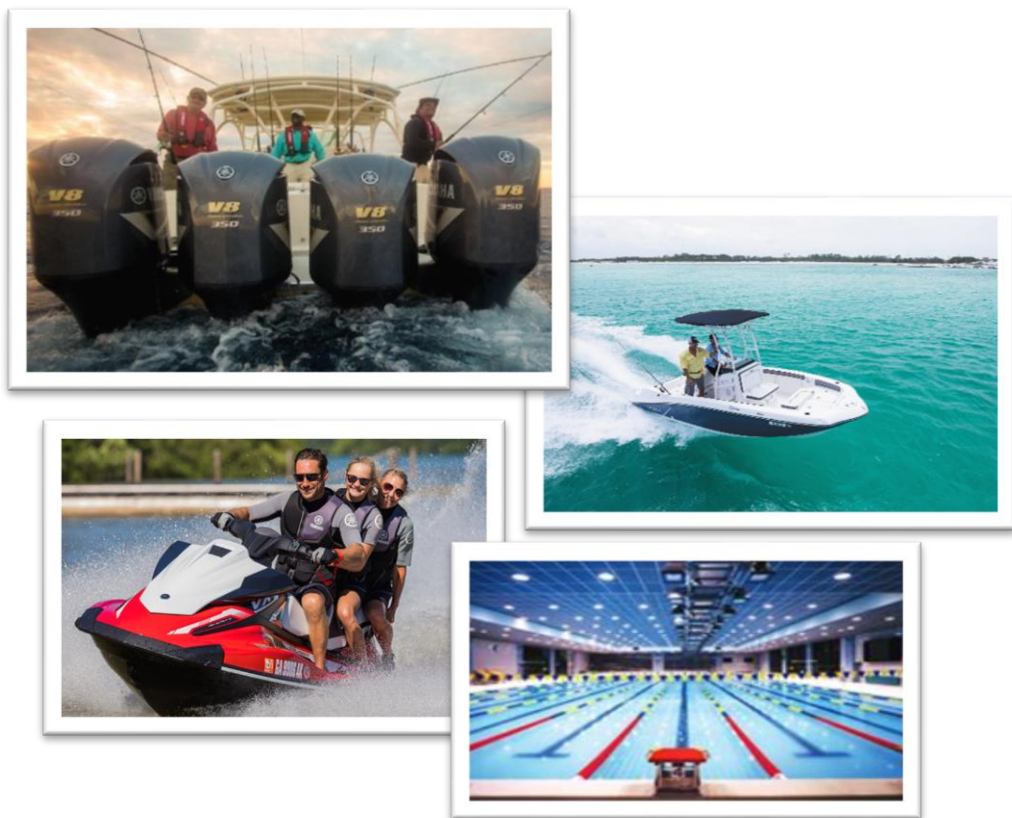
2014年
チェンナイ新工場 稼動開始

生産能力 **150万台規模**へ



マリン事業

売上高3,000億円、営業利益率20%から さらに成長するビジネスモデルへ



高い信頼性を武器に大型に強み



例) F250 購入理由 (%)

市場トレンド+自社の強みを背景に
高収益を維持

営業利益率 約20%

特機事業

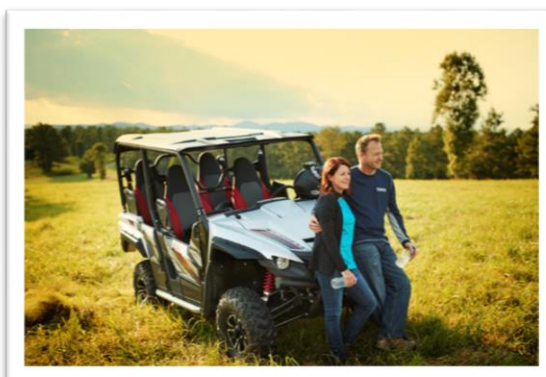


北米を中心にROVラインナップ強化

(2017年実績 売上高1,516億円 営業利益△15億円)



ROV(スポーツ)



ROV(レクリエーショナル)



ATV



ゴルフカー



発電機



除雪機



スノーモビル



その他事業



個性的なビジネスモデル群へ

(2017年実績 売上高1,494億円 営業利益229億円)



表面実装機



CELL HANDLER
(表面実装機、メディカル領域への応用)



電動アシスト自転車



産業用無人ヘリコプター



電動車いす



自動車用エンジン



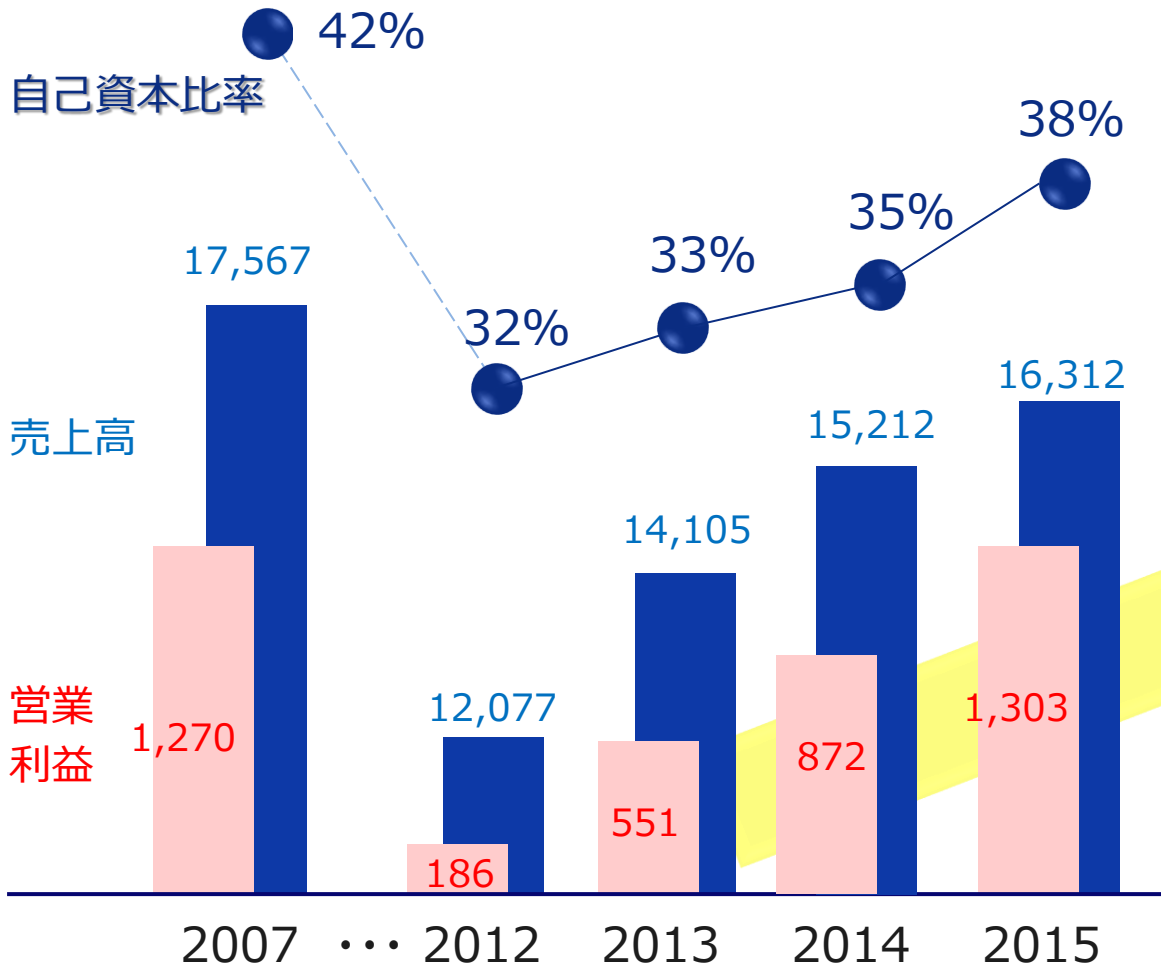
本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動



2013-2015
3期連続 増収・増益

**持続的成長の
基盤づくり**

EPS 248.81 21.45 126.20 196.06 171.89 (円)

自己資本 5,302 3,079 3,840 4,597 4,908 (億円)

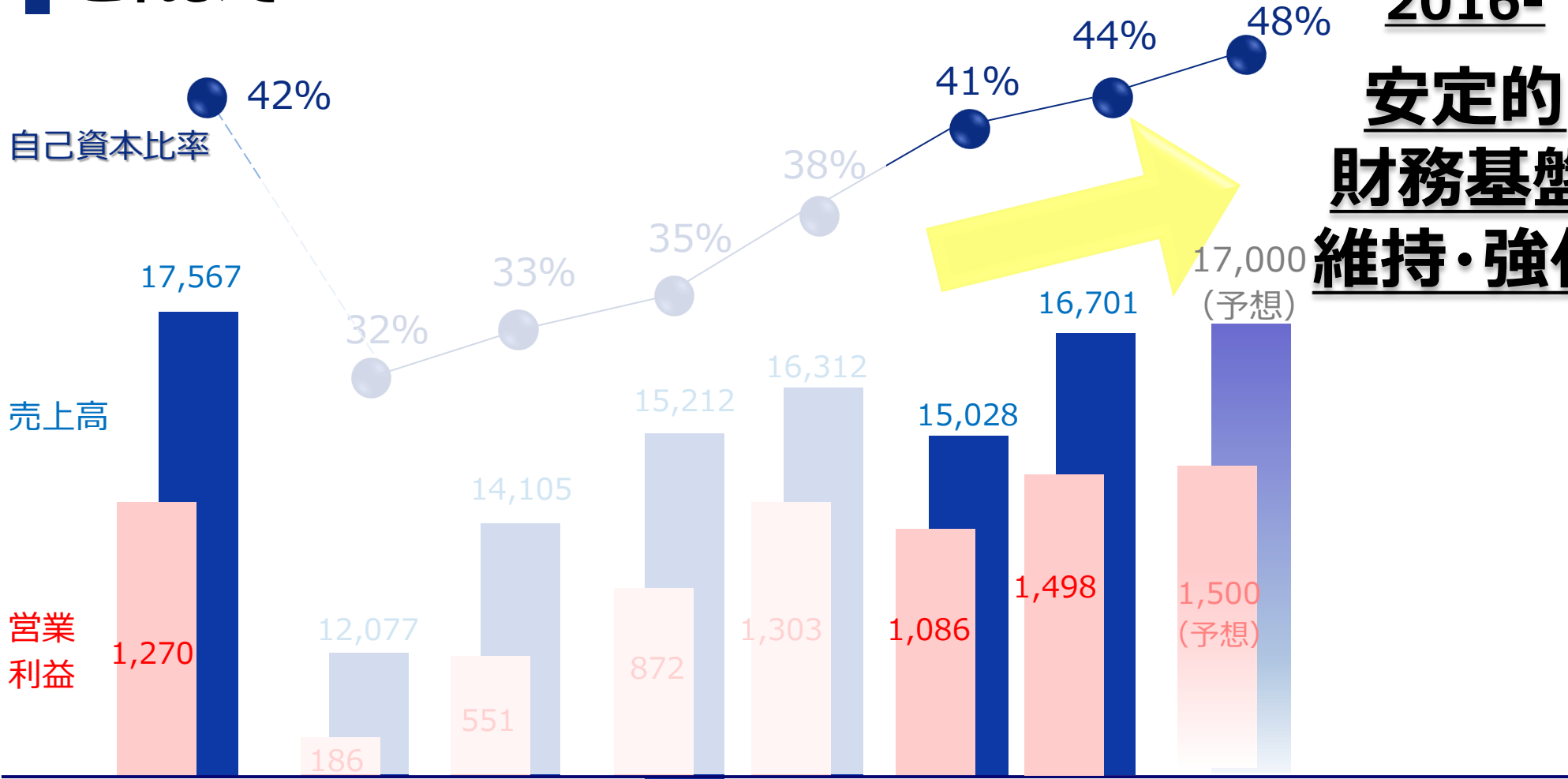
これまで

※表示されている2014年以前の数字は、販売金融に関わる収益・費用の組替を行う前のものです。



2016-

**安定的
財務基盤
維持・強化**

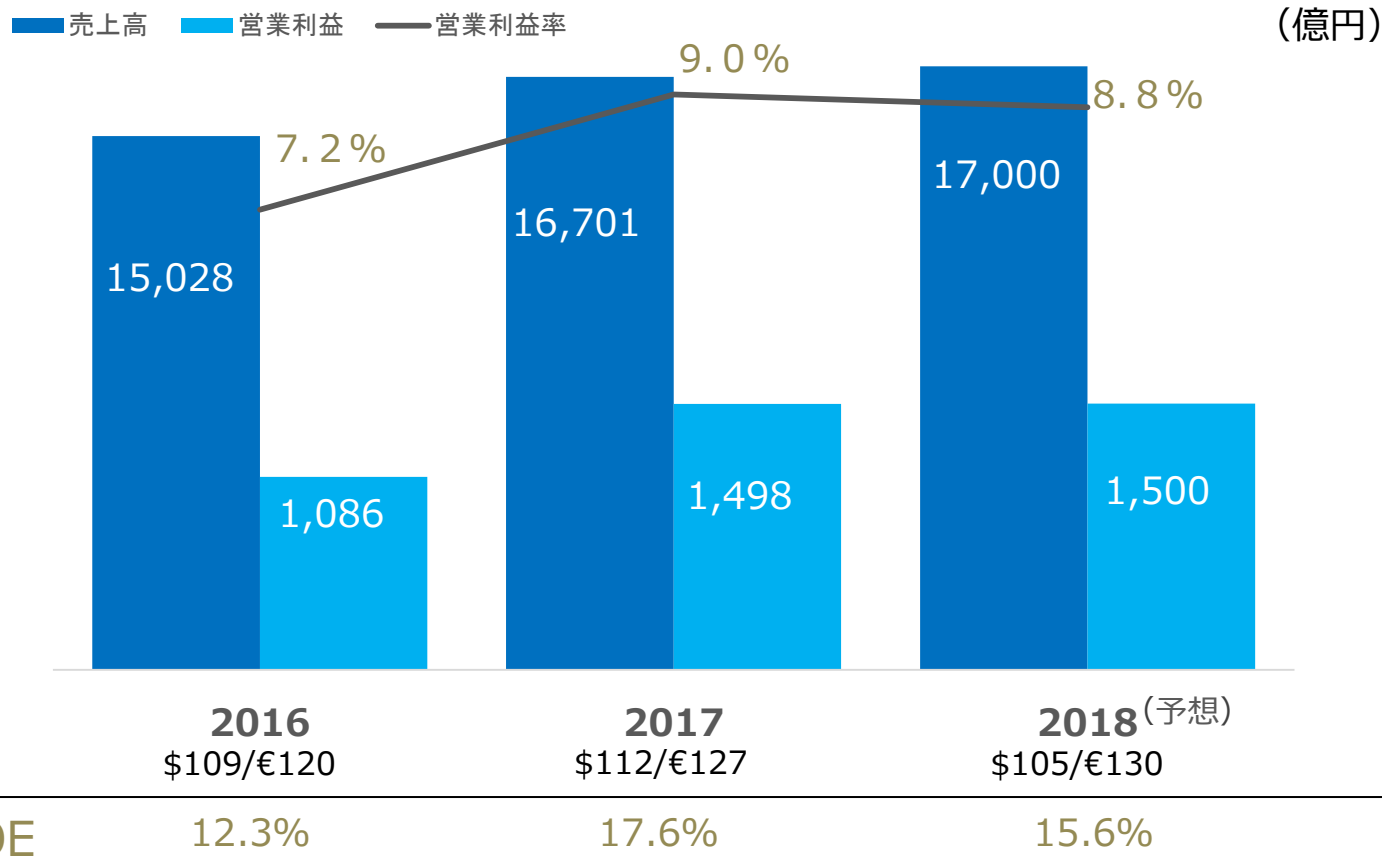


EPS	248.81	21.45	126.20	196.06	171.89	180.84	290.93		(円)
自己資本	5,302	3,079	3,840	4,597	4,908	5,342	6,228	7,000 (予想)	(億円)

中期経営計画 2016-2018

中期経営計画数値目標

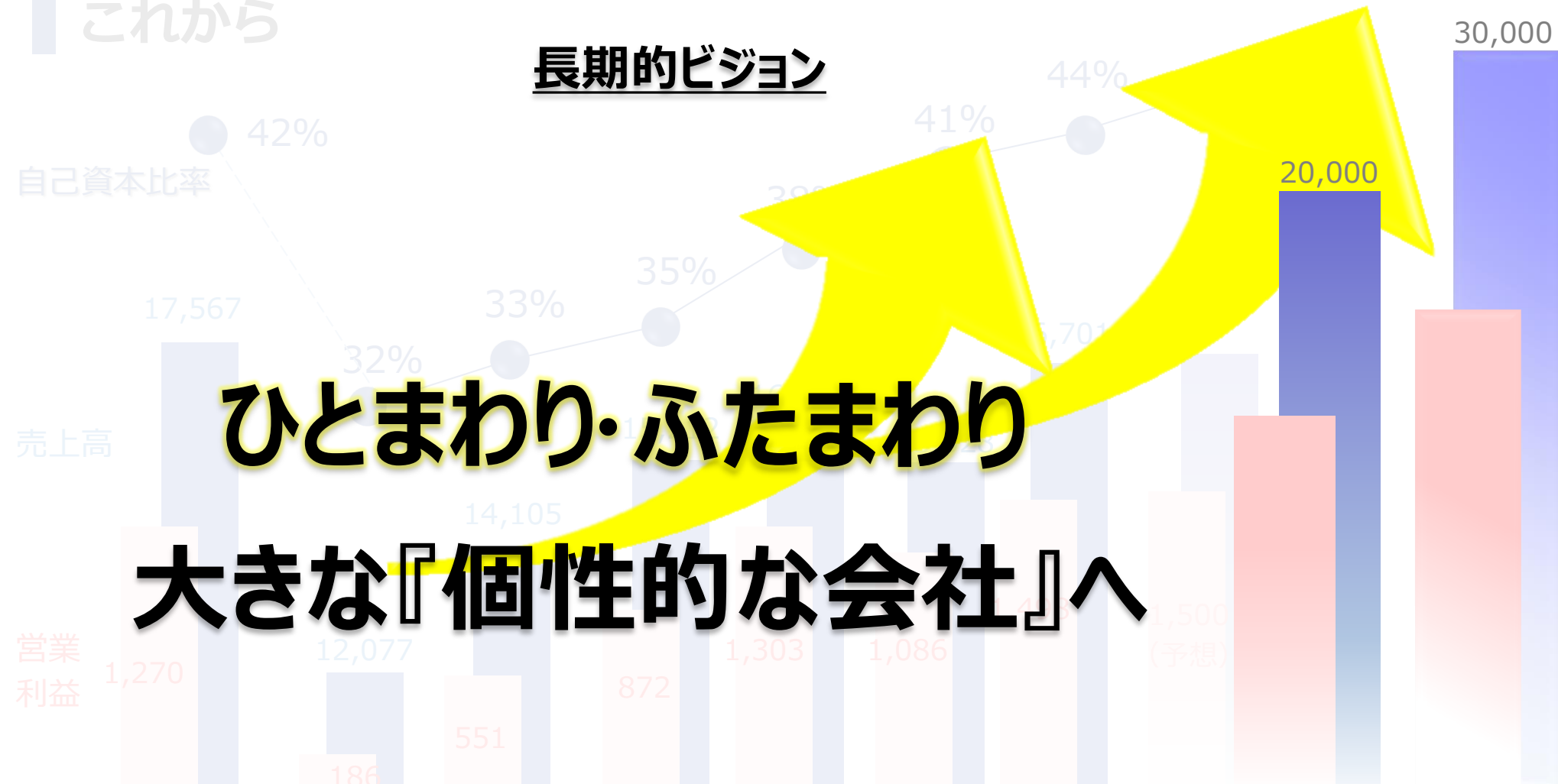
売上高 20,000億円 / 営業利益 1,800億円
 営業利益率 9.0% / ROE (3年平均) 15%程度



長期的ビジョン

ひとまわり・ふたまわり

大きな『個性的な会社』へ



2007 …2012 2013 2014 2015 2016 2017

EPS 248.81 21.45 126.20 196.06 171.89 180.84 290.93

(円)

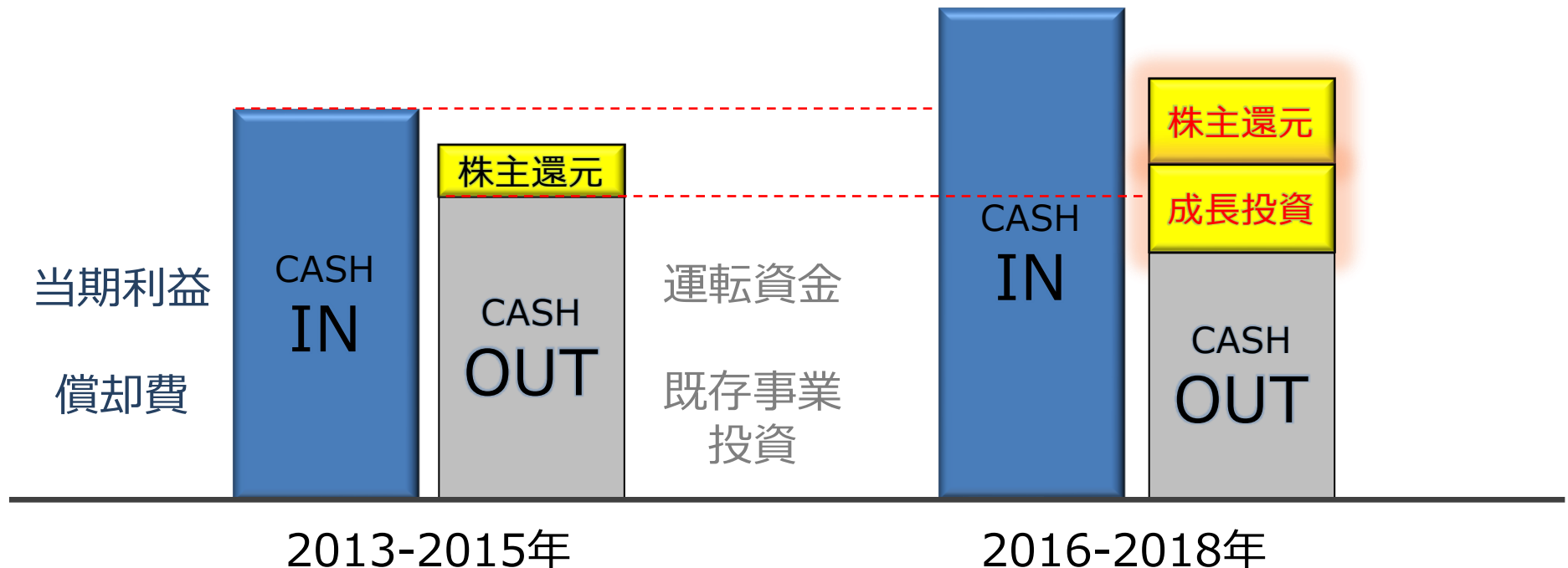
自己資本 5,302 3,079 3,840 4,597 4,908 5,342 6,228 7,000 (予想)

(億円)

中期経営計画 2016-2018

新しい成長投資と株主還元強化

既存事業の稼ぐ力（限界利益・投資効率・事業効率）を高め、
安定的財務基盤により、新しい成長投資・株主還元をさらに増やす。



新しい成長戦略への経営資源投入

成長戦略費用 1,300億円

(設備投資 + 研究開発費)

① 広がるモビリティの世界

- L M W
- 電動化

② マリン 3兆円市場への挑戦

- システム・サプライヤー

③ ソリューションビジネス

- ロボティクス技術の応用・拡大

成長戦略：広がるモビリティの世界

YPJ-ER
(スポーツライド)



YPJ-XC
(マウンテン)



NIKEN



TRITOWN



MWC-4



TRICITY



TY-E

新たな道を切り開く
電動アシスト自転車

LMWテクノロジー：
二輪から三輪、三輪から四輪へ

電動化



成長戦略：システムサプライヤー戦略

エンジンからシステムサプライヤーへ



統合制御システムのイメージ



成長戦略：ロボティクス技術の応用・拡大



MOTOROiD

人とマシンが共響するパーソナルモビリティ



MOTOBOT

ヒト型自律ライディングロボット



産業用ドローン



自動運転も可能な電動小型低速車両



株主還元

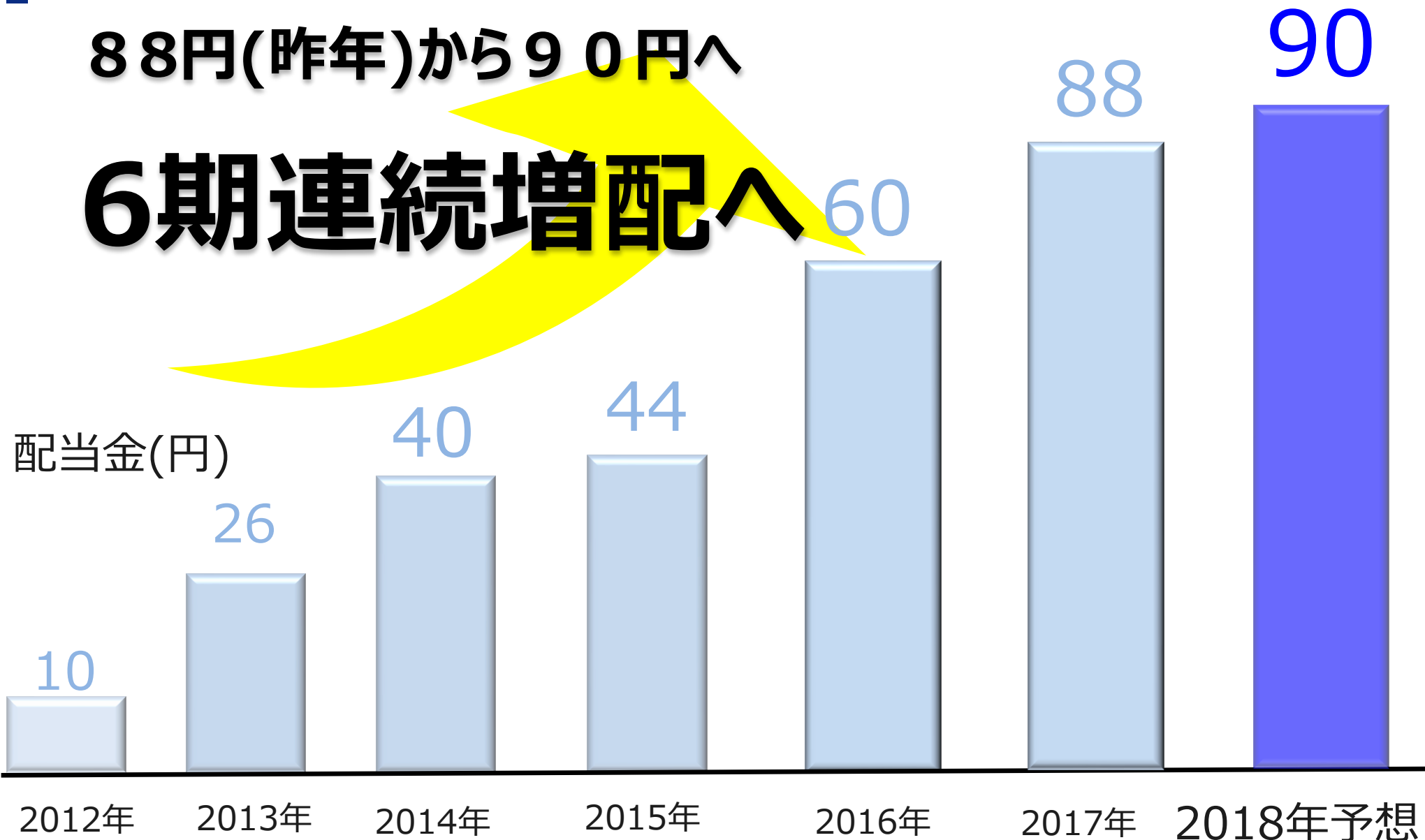
配当金



88円(昨年)から90円へ

6期連続増配へ

配当金(円)



静岡県（本社）および、
グループ会社所在地の名産品をご用意！



1,000P



2,000P



3,000P



4,000P



2,000P

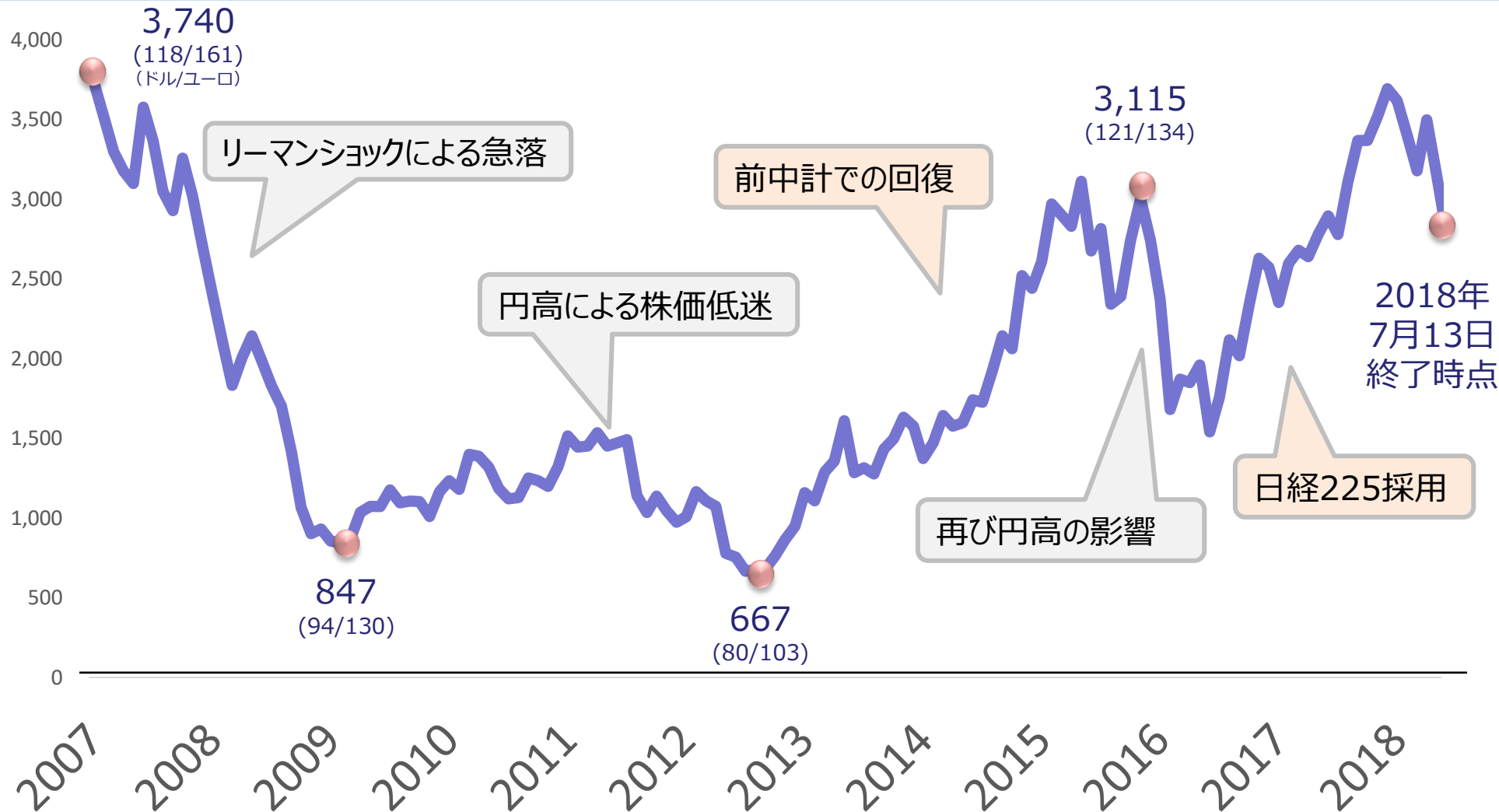
当社ならではの体験型商品



株価の推移 2007-2018年

7月13日 (金)

株価 (終値) 2,888円 / 配当利回り 3.12% / PER 9.79倍



本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動

Environment 環境

【モビリティ】

- ・低燃費エンジン、EV開発
- ・温室効果ガス排出量削減



【マリン】

- ・海洋資源保全
- ・生物多様性



2017年

国連グローバル・コンパクトに参加

Social 社会

【モビリティ】

- ・交通安全普及活動
- ・自動運転実証実験



【マリン】

- ・途上国漁業支援
- ・FRP船技術者育成



【人材育成】

- ・将来を担う人たちの育成
- ・スポーツ振興財団



地域交流

- ・自社製品を使った社員による浜名湖の清掃活動
- ・ヤマハ発動機ジュビロ外国人選手による英会話勉強会

人びとの豊かな暮らしのために



Moving You

企業目的「感動創造」を体現する活動をドキュメンタリームービーでご紹介しています
「ヤマハ発動機 Moving You」で検索の上、ぜひご覧ください。



A DOCUMENTARY SERIES

Moving You

笑顔ひろげる、感動つくる。





ヤマハ発動機株式会社
(東証一部 7272)